

<令和5年度 福野小学校アクションプラン>

★重点目標を達成するための具体的な目標及び数値指標

- ・自分の考えをもちながら、話を聞くことができる（考える子）（達成度 80%）
- ・自分から進んで挨拶したり、返したりすることができる。
（人の役に立つ子）（達成度 80%）
- ・廊下や階段の右側を落ち着いて安全に歩行する。（元気な子）（達成度 80%）

重点項目1	① 自分の考えをもちながら、話を聞くことができる。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・教室に「認め合う聞き方名人」の条件を掲示するとともに、子供たちが継続して意識するよう、声をかけたり振り返りの場を設けたりする。 ・「認め合う聞き方名人」の条件のうち、子供自身が目標を決め、取り組むことができるようにする。その際、「なるほど」と思いながら聞くことも、考えをもっていることになると子供たちに伝える。 ・学年朝の会、朝活動、学校行事等、授業時間以外においても子供の聞く姿を捉え、実態に応じて全体や個別に指導していく。
外部評価者	小中学校評議員
担当	考える子部会
評価方法	保護者評価、児童自己評価、教職員評価
公開の方法	学校通信、ホームページ
重点項目2	② 自分から挨拶したり、返したりすることができる。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時、朝の会、授業開始の挨拶の際、友達、地域の人や教員等に自分から挨拶したり、挨拶を返したりすることができたかを振り返る場を設ける。 ・挨拶は広い意味でのコミュニケーションの入り口であり、「ありがとう」や「ごめんなさい」など、状況に応じて進んで伝えられるよう指導していく。 ・あいさつ運動等、高学年児童の思いを反映しながら児童会活動を工夫する。
外部評価者	小中学校評議員
担当	人の役に立つ子部会
評価方法	保護者評価、児童自己評価、教職員評価
公開の方法	学校通信、ホームページ
重点項目3	③ 廊下や階段の右側を落ち着いて安全に歩行する。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・学期の始めに、廊下歩行をすることに対する理解と徹底を促すために、担任が各学級で指導する。 ・右側通行を意識するために、床にテープを貼る。 ・廊下に「歩きましょう」と書いた札を置く。 ・児童会で定期的に「廊下階段歩行週間」を設け、子供たちが自己評価する。
外部評価者	小中学校評議員
担当	元気な子部会
評価方法	保護者評価、児童自己評価、教職員評価
公開の方法	学校通信、ホームページ